

## 仙台市薬剤師会学術研修会開催のご案内

謹啓 師走の候、先生方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年もP O P S 東北と合同の公益社団法人仙台市薬剤師会の令和5年度学術研修会を下記要領にて開催致します。

ご多忙中と存じますが万障お繰り合わせの上、ご参加賜りますようお願い申し上げます。

※) 会場は感染対策を実施していますが、入場の際は各自十分な感染対策をお願い致します。

謹白

### 記

日 時 令和6年1月20日(土) 15:15~19:00  
開場: 15:00~

会 場 フォレスト仙台1階会議室  
仙台市青葉区柏木1-2-45 TEL: 022-271-9340

講 演 15:15~19:00 座長 (公社) 仙台市薬剤師会理事

『Poly pharmacy 対策に取り組まない薬剤師は国から必要とされなくなる  
~ うつ・認知症の処方薬を減らす努力を ~ 』

ファーマシューティカルケア研究所所長 中原 保裕 先生

### ※) 中原先生からのメッセージ:

Poly pharmacy 問題は 2023 年の『骨太の方針』にも取り上げられていて、国家にとっても解決しなくてはならない重要な課題となっています。当然のこととして、それはまさに薬剤師の存在意義を試されていると言っても過言ではないでしょう。特に精神科領域や認知症治療における Poly pharmacy は顕著であります。特に薬剤師として注目すべきものは「処方カスケード」と呼ばれている Poly pharmacy です。Poly pharmacy の生じている背景は単純なものではなく、かつそれらに対する対応も、かなり専門的な視点を持って臨まなければいけません。今回は他では絶対聞くことのできない薬剤師としての重要な未来についてわかりやすく、かつ実践的な内容で話しをします。

※) 非会員は参加費1人2000円のご協力をお願い申し上げます。(学生は無料)

※) 軽食の準備はしておりません。PECS の認定はございません。

令和5年度 仙台市薬剤師会学術研修会申込要領

☆ 出席する場合は1月13日(土)までに下記にmailまたはFAXをください。

※) 講演終了後の「中原先生を囲む会(19:00~21:00, 会費4,500円位)」に参加希望の方はお名前の後に「囲む会参加希望」と記載してください。

☆ 出席の連絡先 : (公社) 仙台市薬剤師会副会長 高橋 将喜 (080-2832-9191)

mail : [chuushayaku\\_rinshou\\_11@yahoo.co.jp](mailto:chuushayaku_rinshou_11@yahoo.co.jp) FAX : 0223-34-6502

参加申し込みメール(FAX)には: 先ず「中原先生の講演会に参加します。」と記載。

その後に 1) お名前(姓・名) 2) 勤務先名 3) 仙台市薬剤師会 会員・非会員

4) ご連絡先電話番号 5) 中原先生囲む会に参加(参加する場合) 6) 質問を 記載。

(※) 参加申し込みメール(FAX)の記載例

(例1) 中原先生の講演会に参加します。 1) 高橋将喜 2) 仙南病院 3) 会員  
4) 080-2832-9191 5) 囲む会参加 6) 質問は特になし

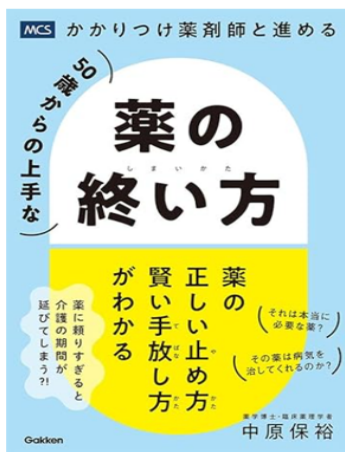
(例2) 中原先生の講演会に参加しません(無職・非会員でかつ囲む会に参加しない場合)。  
1) 高橋花子 2) 在宅 3) 非会員 4) 0223-34-65021 6) 質問はなし

(※) 以下に中原先生の一般人向けの新著を紹介します。

中原先生のメッセージ: 今度の講演会ともかぶる内容ですので、これを薬剤師が読んで患者のために頑張ろうという気持ちが大きくなってくれると嬉しいです。

Amazon.co.jp: 50歳からの上手な薬の終い方: かかりつけ薬剤師と進める : 中原保裕: 本  
<https://www.amazon.co.jp/50歳からの上手な薬の終い方-かかりつけ薬剤師と進める-中原保裕/dp/4058021810>

本 > 暮らし・健康・子育て



画像にマウスを合わせると拡大されます

50歳からの上手な薬の終い方: かかりつけ薬剤師と進める 単行本 - 2023/12/21

中原保裕 (著)

予約注文

すべての形式と版を表示

単行本  
¥1,540  
獲得ポイント: 15pt

1新品から ¥1,540

「予約商品の価格保証」対象商品。規約

プロモーション情報 【一緒に買うとおもちゃが5%OFF】 1件

BLACK FRIDAY 本のみまとめ買いで最大15%還元 ポイント還元率 4~6冊 最大5% 7~9冊 最大10% 10冊以上 最大15% 12/1まで

高血圧、脂質血症、肥満など健康診断のために増えていく薬の数。一度始めたら一生やめられないの? これ以上増えたらどうする? という不安を抱える人は多い。また、処方された薬を用法用量を守って飲んでいるという人は実は少ないという。一方、処方に疑問を持って、診察時に医師や薬剤師に質問をする人は少ない。ポリファーマシー(多剤服用)は、薬の相互作用による薬害を引き起こし、医療費の上昇を招く社会問題になっている。「薬の断捨離」を実施するには、ただ闇雲に断薬するのはもちろん危険。臨床薬剤師として第一線に立ち続ける筆者が、薬の問題に悩む人に向けて、薬の本当の役割を知り、薬を選んでいくために方法を教える。